

02 臨床検査で使われる用語集

キャリーオーバー

自動化された分析器や分注機、洗浄が不十分な器具の使用などで、前の検体を測定(分注)した際の試薬や検体の成分が次の検体に持ち越されること。コンタミネーションの原因となります。

凝固検査

血液の凝固異常を調べる検査。血管が損傷して出血が起きると血液が固まって血栓を形成します。この血栓を作る作用に関する凝固因子の機能を調べます。また血栓を溶かす作用を線溶と言い、これは血栓を溶かす因子の機能を調べます。両方を合わせて凝固・線溶検査ということもあります。

血液検査

採血によって得られた血液の成分を調べ、病状や病態を調べる検査の総称。

02 臨床検査で使われる用語集

血糖検査

血液中の糖(ブドウ)がどれくらいあるかを調べる検査。空腹時血糖値、随時血糖値、糖負荷試験などがあります。

生化学検査

検体中に含まれる蛋白、酵素、電解質、金属イオン、脂質、血糖などの成分を測定しています。これらの成分を測定することで、肝機能や腎機能など体の健康状態が把握できます。

免疫検査

生物には体外から侵入してきた異物(抗原)に対して防御物質(抗体)を産生する機能があり、これを免疫と呼びます。これらの免疫で産生された抗体、また腫瘍マーカーなどの抗原、自己免疫疾患の自己抗体などの有無を調べます。

02 臨床検査で使われる用語集

検体

血液、髄液、組織、細胞、喀痰、尿、便などの人体から採取された又は排出されたものの総称。

検体検査

採取された検体の成分や状態を調べること。
血液学的検査や血清学的検査、微生物学的検査、病理学的検査、生化学的検査などに分かれます。

コンタミネーション

英語で「汚染」という意味を持つ単語。
実験や検査で元の試料にキャリーオーバーなどで他の試料が混ざってしまうことを指します。

02 臨床検査で使われる用語集

採血管

採血専用の試験管。検査する項目によって種類が分かれています。主なものに生化学用、血算用、血糖用、凝固用があります。

ミドルウェア (MW)

異なるソフトウェアを接続する中間に位置するソフトウェア。
LISと検体搬送システム(ラインコンピュータ)間で通信を行います。

フィブリン

血液凝固に関わる繊維状のたんぱく質。出血や血管内損傷、異物の侵入などで前駆体であるフィブリノゲンにトロンビンなどが作用しフィブリンモノマーが切り出されたあと、いくつかの機序を経て産生される。繊維素とも呼ばれる。プラスミンにより溶解され、これを線溶と呼びます。

02 臨床検査で使われる用語集

HIS

病院情報システム、Hospital Information System の略。
病院内の各情報システムの総称。オーダーリングシステムや電カルシステムや医事会計システム、入退院管理システムや診療予約システムなどもこれに含まれる。

LIS

臨床検査システム、Laboratory Information System の略。
HISから送られる検査依頼情報に対し、検査後の検査結果情報をHISへ返すシステム。検体搬送システムや分析装置などはLISと通信を行います。

02 臨床検査で使われる用語集

RFID

RFID Radio Frequency Identificationとは、ICタグとRFIDリーダー（読み取り装置）の間で電磁波や電波を送受信し、非接触でICタグの情報を読んだり書き換えたりするシステムの総称。医療業界でも様々な運用方法が導入されています。薬剤や消耗品の管理、手術器具の管理や検体管理など。また、患者とRFIDタグを紐付けて病院内での移動の履歴などからTATを取ることなども可能になるとは思われますが個人情報管理など課題もあります。

出典：HIS 医療用語・病院用語のわかりやすい解説辞典 (medicalwords.info)
病院でのRFIDテクノロジーの使用-追跡できる7つのこと- WXR (rfidfuture.com)
血液検査 - 日本人間ドック学会 (ningen-dock.jp)
免疫機能のはたらきとは？ 意味や使い方 - コトバンク (kotobank.jp)